

## 埋蔵文化財最新発掘調査情報

◆朝霞市では、現在69か所の遺跡が存在しています。

川や緑が多く都心にも近い朝霞市においては、宅地造成やマンション建設など大規模開発工事が多いため、記録保存のための発掘調査が数多く行われています。そのなかで、最新の調査成果をお伝えします。

### しものほらだいさんいせき 下の原第三遺跡第3地点

調査地：朝霞市泉水一丁目地内

期間：令和2年6月23日～8月19日

調査面積：1,503.48㎡

◆今回の調査では、縄文時代の土坑1基、近世の土坑12基、溝跡7条、ピット52基が確認されました。

縄文時代の土坑は、その形から動物を陥れるための陥し穴と考えられ、本調査地点の北側に位置する第1地点からも同様の陥し穴が見つかることから当遺跡は、集落外の狩猟場であった可能性が想定されます。

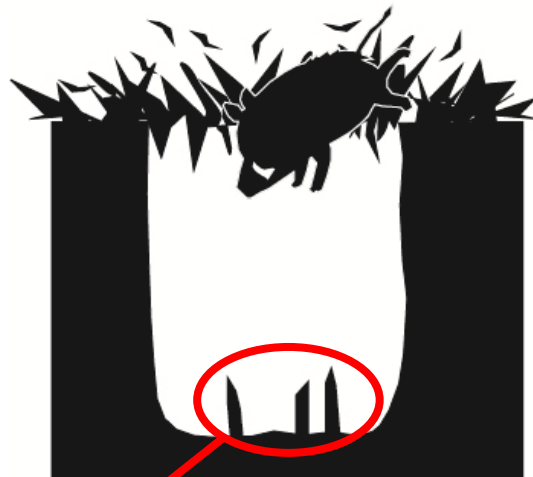
また、調査区を南北に縦断している溝跡は、溝の中から出てきた遺物（陶磁器片）から18世紀後半頃に掘られたと考えられ、根切り溝や区画溝といった性格の溝跡と考えられます。



下の原第三遺跡第3地点 位置図



検出された縄文時代の陥し穴



陥し穴にはまるイノシシ(予想図)



落ちたら杭に引っかかって登れなくなっちゃうね。



穴底に残る杭の跡

とっても長い溝だね。  
なんのために掘ったのかな？



調査区を南北に縦断する溝跡